

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク実習指導 (精神)Ⅱ (DE306)			担当教員	丸山貴志・足立孝子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
この科目では、ディプロマポリシーに照らし、相互理解を図ることができるようになることを目的とし以下の項目を授業のねらいとする。①ソーシャルワーク(精神保健福祉士)実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。②精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。							④⑥⑦⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。				課題レポート	20%	
情報収集、分析力	実習で学ぶ目的から目標と課題を考え、実習計画書を作成できる。精神保健福祉士としての自己の資質を知り、それを表現できる。				グループ発表	40%	
コミュニケーション力	ソーシャルワーク実習(精神)で学ぶ目的、意義を説明できる。自分の実習計画書を説明できる。				課題レポート	10%	
協働・課題解決力	実習生にふさわしい態度・行動をとることができる。				グループワーク	20%	
多様性理解力	精神障害者のおかれている現状を理解し、生活実態や生活課題を説明できる。				課題レポート	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業や体験実習への取り組みは、目的意識を持って意欲的に、実習機関や実習で関わる方々の尊厳を尊重しながら取り組むことができたか、その取り組みを事実と感想、考察の区別をしながら論理的に説明できるかを評価する。授業や帰校日での発表と課題レポート(40%)、グループワーク(20%)での発表(40%)とする。自分の考えを相手にわかりやすく表現できたかを評価する。</p> <p>ポートフォリオ等を通して指示する課題レポート(個人プロフィール、個人情報に関する誓約書、実習計画書、体験学習報告書等)は必ず期限内に提出しなければならない。また、課題のフィードバックは授業内に行うものとする。</p>							
授業の概要							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受持ち、15回の授業を展開する。実習においてより深く、精神保健福祉援助に関する知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、実践的な技術等を体得することができるよう個別指導及び集団指導を行う。実習の動機、目的、実習課題を明確にする。1日間の体験実習を行い、精神科医療機関等の具体的な状況を理解する。体験実習とその振り返りをもとに実習計画書を作成し事前学習を行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：精神保健福祉士養成講座 『ソーシャルワーク実習指導・実習(精神専門)』中央法規(精神)</p> <p>参考書：授業内で指示する。</p> <p>指定図書：精神保健福祉士養成講座 『ソーシャルワーク実習指導・実習(精神専門)』中央法規(精神)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>報告、連絡、相談を迅速に行うこと。実習では様々な立場のたくさんの方々と出会うことになります。自分自身をしっかり見つめながら、真摯に、誠実に、謙虚に、そして積極的に取り組んで下さい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	実習の意義、目的、スケジュールの確認をする。実習で学びたいことを確認する。個人プロフィール作成を始める。	スケジュールを確認する 実習を行う機関について調べる
2	実習機関・社会資源の理解	調べた実習先機関についてグループワークし、実習の動機、目的、実習課題、体験実習の目的を明確化する。	実習機関と社会資源について理解を深める。
3	個人プロフィール作成	個人プロフィールを作成する。個人情報の取り扱いについて理解を深める。倫理綱領を確認する。個人情報に関する誓約書を作成する。	個人プロフィール作成
4	精神疾患についての理解	精神障害の精神疾患についてグループワークを通してついて学んでいく。	精神障害の精神疾患について理解する
5	<u>実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書の作成①</u>	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書の作成を行う。実習場面で起こりうる場面を出しあい、グループワークを行う。	実習計画書を作成する
6	<u>実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書の作成②</u>	実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書の作成を行う。実習場面で起こりうる場面を出しあい、グループワークを行う。	実習計画書を作成する
7	法制度・個人情報の取り扱いについての理解	調べた法制度について、グループワークを通して理解を深める。実習の心構えを確認する。体験実習の準備をする。	個人情報の取り扱いについて確認する
8	<u>現場体験実習及び見学実習</u>	実習機関において、現場体験実習及び見学実習を行う。	体験実習での学びを整理する
9	体験学習の振り返り	体験実習を振り返り、実習の動機、目的を明確化する。事前学習すべきことを整理する	体験学習振り返り、実習計画書を作成する
10	事前学習① <u>巡回指導（訪問指導、スーパービジョン）</u> について理解	実習計画書で「事前学習」となっているものを調べる。巡回指導（訪問指導、スーパービジョン）について理解を深める。	実習前の課題を整理し、調べ学習する
11	事前学習②	実習計画書で「事前学習」となっているものを調べてプレゼンテーションし、グループワークを通して理解を深める。	実習への心構えを確認する
12	事前学習③ <u>「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解</u>	実習要綱、「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解、個人情報の取り扱いについて確認する。	実習要綱、倫理要綱を確認する
13	実習計画書発表	作成した実習計画書をプレゼンテーションする。	実習計画書を完成させる
14	実習計画書完成	実習計画書を完成させる。	実習計画書を完成させる
15	まとめ	実習上の留意点、巡回、帰校日、お礼状、実習報告書、実習後スケジュールの確認を行う	実習の留意点を確認する